

民営化のメリット・デメリットに関する先進市調査

1. 保育所の民営化 自治体からみたメリット・デメリット

メリット	デメリット
<p>◇財政面（国庫補助金の活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に伴う施設整備について、建物を無償譲渡していることから、民間事業者が自己所有する建物の施設整備となるため、国庫又は府の補助制度を活用することによって、市及び事業者負担を抑制することができた。 施設の老朽化対策や耐震化に伴う建替え時において、民間が整備した場合、国補助の活用により市負担を抑制できる。特に、現時点において待機児童解消を伴う場合は、より有利な補助率（市負担 1/12）を活用することが可能。 民営化後に大規模改修や移転により新築（協定の中で近隣への移転は認めていた）などがなされ、保育環境は向上した。 <p>◇財政面（民営化による効果額の活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> 民営化した保育所の定員規模によって、多少のバラつきはあるものの、概ね1園当たり約1億円の民営化効果額があり、当該財政効果額を他の子育て支援施策の財源として活用することができた。 民営化により運営コストが必要なくなり、大幅なコストダウンが実現できた。また、そこで生み出した財源を新たな子育て支援策に活用できた。 <p>◇保育の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立施設で私立施設並の保育サービス水準を実施するにはさらなる人件費などの経費が必要となるが、民間移管を実施することにより、民間事業者の柔軟性を活かした利用者のニーズに合った保育サービスを提供することができる。（特別保育等の実施について、私立施設で提供する場合は国や府からの補助金をもらうことができる。） 民営化された保育所は市立の保育を引継いだうえで、民間独自のノウハウや保育サービスをプラスアルファするとともに、障害児や要保護・要支援家庭の児童の受け入れも積極的に行っている。 民営化した保育所の延長保育の時間が30分から2時間になるなど、保育サービスの充実につながった。 民営化事業者による特色ある保育の実施 延長保育の拡大、サッカー、スイミング、など 完全給食の実施 送迎等の駐車場の確保 延長保育の拡大 園外保育においては、幅広く施設の設定ができる。 休日保育など市の推進しようとする事業の実現 	<p>◇環境変化による在園児や保護者への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間の経過とともに軽減されていくが、民営化直前・直後は運営主体の変更や園長・保育士の入れ替わりなどによって、一部の入所児童や保護者に不安感を与えた。 民営化により、運営主体が交代することになり、在園児やその保護者にとって不安があり、そのための市の説明や配慮などが必要。 民営化により、運営主体が交代することに対する在園児やその保護者の不安解消に向け、民営化前後の市及び事業者からの説明や、一定期間（概ね1年程度）の引継ぎ保育、市運営時の一定の保育内容等の継承などの配慮が必要。 在園児童のストレスの負担を軽減するため、十分な引継ぎ期間を設ける必要がある。 事業主体が変わることにより、保護者にとってはこれまでの保育水準の低下や費用負担の増加、突然の閉園等が懸念されていたため、民営化後も公立の時と変わらず対応していく保証が必要とされた。 <p>◇対応方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 三者懇談会、保護者説明会及び保護者アンケート等を実施 合同保育(直前3か月)及び引継ぎ保育(直後3か月)の実施 公私連携により、協定書の締結や移行後の意見聴取会の実施により、急激な変化にならないように配慮する方針 市、事業者間の協定書締結や民営化前後の合同保育の実施、民営化対象園勤務の臨時職員の雇用促進などにより、急激な変化にならないように配慮した。 協定により、在園児が卒園するまでの間、一定の保育内容等の継承を規定したことに対し、事業者に補助を行うことで確実な実施を促した。 民営化後の不安解消のため、保護者・事業者・市の三者懇談会を保護者の求めに応じて実施した。（最長4年間） 移管後の施設形態を公私連携幼保連携型認定こども園とすることで、市と民間事業者が協定を締結し、市の保育内容を引継ぐことができるよう配慮。市と民間事業者と保護者代表からなる三者協議会を開催し、移管後の施設運営について協議する場を設ける。 <p>◇保護者間の意見の相違による争議</p> <ul style="list-style-type: none"> 各保護者の民営化に対する意見の相違から、保護者同士のトラブル等に発展し、精神的な負担感からの転園や保護者会の解散などに至ったケースが発生した。 <p>◇看護師配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立保育所は全か所に看護師を配置していたが、民営化により後に一部の園において看護師の配置がされなくなり、体調不良児の対応ができなくなった。 <p>◇要支援世帯への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害児や虐待、医療的ケアを要するなど、特に重度の支援を要する児童や世帯の受け入れが難しくなった。

<p>◇公立における保育士不足問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的な観点では人件費の抑制、短期的には臨時職員の賃金の抑制につながる。 ・市の保育士不足の解消 ・公立保育所の民営化により、引き上げられた保育士を他の公立保育所において配置することにより、大量退職による保育士減少の影響を最小限にとどめることができた。 <p>◇保育環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備等の改善が、より現場に近い判断、かつ早期に図られる。 <p>◇地域子ども・子育て支援事業の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者募集段階で一定の地域子ども・子育て支援事業（延長保育の拡大、一時預かり事業、病後児保育事業等）の実施を条件付けることで、市民のニーズ量に応じた確保が推進される。 	<p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立と同一の保育を求められるが、同一の保育は困難であること。 ・保護者対応において、公立と私立で違いがあるため、保護者からの要望が多くなる。 ・民営化前からの保護者と民営化後に入所した保護者の感じ方に差が生じること。 ・民営化に際して、公立時でも対応できないような要望が発生する。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 保護者の声（先進市の民営化時における保護者アンケートより）

民営化でよかったこと	民営化でよくなかったこと
<p>◇施設関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模修繕工事や改築工事が実施されたことによって、施設が明るくきれいになった。 ・施設環境の改善。 ・園舎等設備の更新が期待される。 ・給食室の整備により完全給食が実現した。 ・駐車場への誘導員の配置。 <p>◇保育関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育時間が延長されるなど、保育サービスが充実した。 ・保育士の平均年齢が若返った。 ・アンケートの結果、おおむね満足という結果でした。 ・保育士の子どもや保護者への対応が丁寧になり、雰囲気明るくなった。 ・施設・設備の改善等の対応が早く、遊具や玩具の数が増え、かつ清潔感が増した。 ・保護者の声等への対応が早くなった。 ・市立施設での保育内容に不満があったが、民間移管により、新たな保育サービス（延長保育等）を受けることが出来る。 ・保護者の要望を受け、5歳児のお泊り保育を実施するなど、公立の良さを継続しつつ、民が持つ経験を活かして新たな取組みへと展開することができた。 ・職員が懸命に対応しているとの声が多い。 <p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来、入所希望であった施設を運営している法人が移管事業者となった。 	<p>◇運営関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良いところも悪いところも含めて、市立保育所時代からの違いを感じるようになった。 ・園長不在の時間が増加した。 ・行事後などの協力日が増えた。 ・民間移管による保護者の実費負担が増加することが不安 ・顔なじみの保育士たちが入れ替わることで、子どもの環境が大きく変わってしまい、子どもにかかるストレスが不安。 ・若手職員が多くなり、職員の育成や保護者対応などうまくいかない部分もあった。退職も多数出てくるなど職員の入れ替わりも多くあり、安定するまで時間を要した。 ・事業者側にとって、行政や保護者に対する責任やプレッシャーが保育士への負担につながり、離職者が増えたようである。それがさらに保護者への不安感・不信感につながり、悪循環になっていた。 ・年度途中での職員の退職。 <p>◇民営化直後の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の連携が悪いと感じる。 ・行事の実施方法や午睡の取り方等が民営化前と変化した。 ・保護者の意見に耳を傾けてもらえない。 <p>◇保育関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慣れ親しんだ園長や保育士が入れ替わったことによって、不安や寂しさがあった。 ・ベテラン保育士の人数が少なく、保育士の入れ替わりが多い。 ・時間外保育に不安がある。